

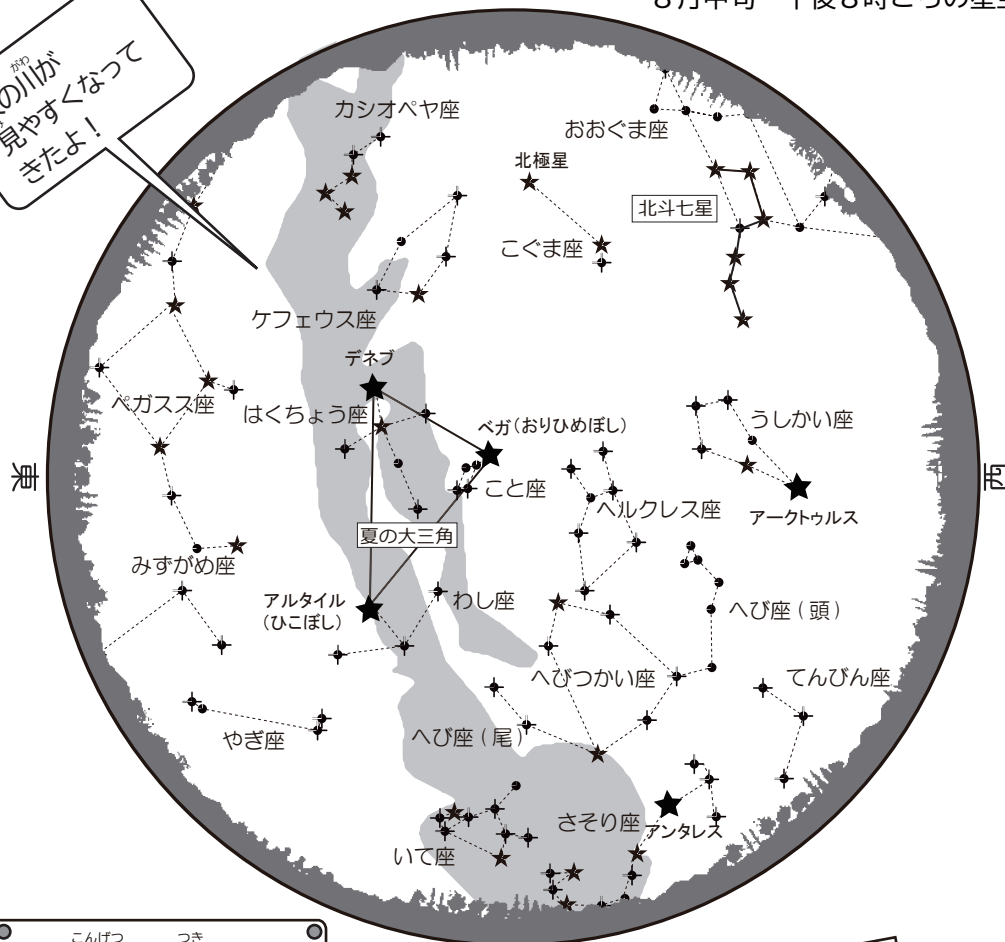
星空だより

2025年8月
No. 177
富山市科学博物館

8月中旬 午後8時ごろの星空



あま かわ
天の川が
見やすくなって
きたよ!



南

み ほしい ほうがく
見たい方が
下になるように持って
その方角の空を
見てね。



流れ星を見よう

毎年、流れ星が多く流れるペルセウス座流星群。今年は12日の夜中から13日の明け方にかけて最も多く見られます。月が21時頃から昇ってきて月明かりがありますが、街明かりの少なめのところで、月を直接見ないようにして空全体を眺めてみましょう。夜は寒くなることもあるので、上着を用意して見てくださいね。



ペルセウス座流星群の流星はペルセウス座から四方八方に流れます。

黄道十二星座紹介 ☆いて座☆



いて座は、人と馬が合わさったような姿をしていて、ギリシャ神話ではケイローン（ケイローン）の姿といわれています。ケイローンは頭がよく、戦い方や病気の治し方などを多くの英雄たちに教えたことから、ケイローンの死を惜しんだゼウスにより、星座になりました。

※黄道十二星座って？

太陽の通り道（黄道）に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

星空観察会

毎週土曜日の夜に開催。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

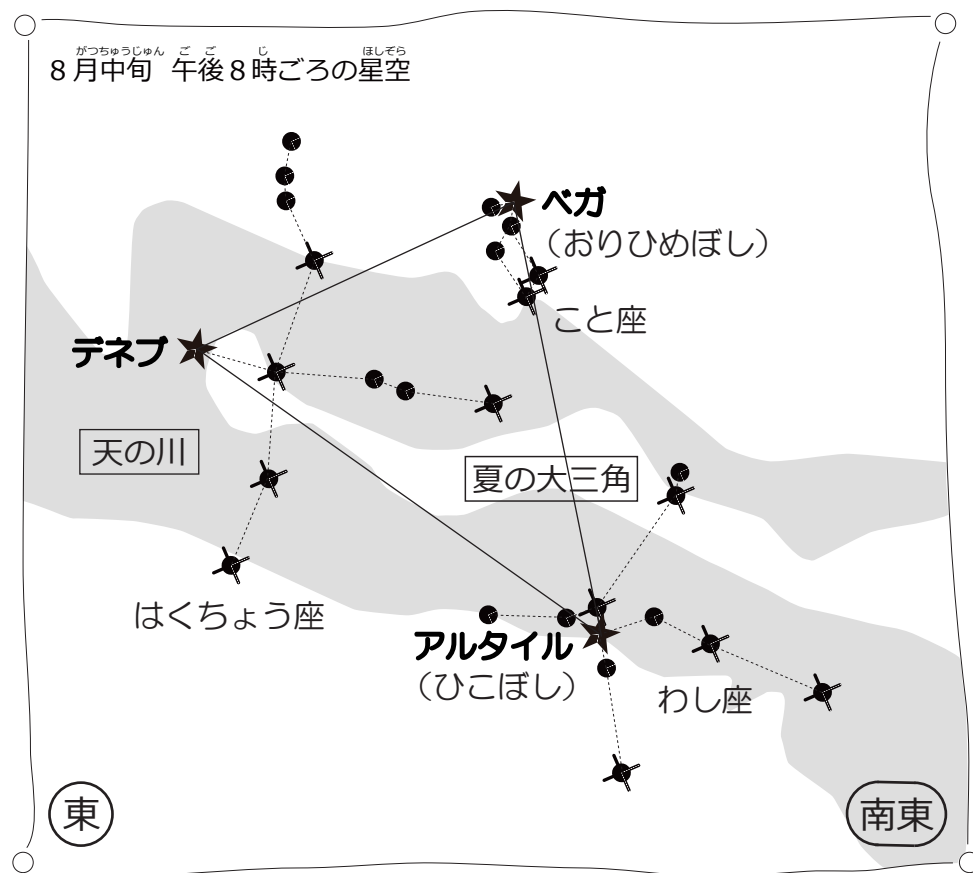


～今月のお月さま～

8月 1日	上弦	●
8月 9日	満月	○
8月 16日	下弦	◐
8月 23日	新月	●
8月 31日	上弦	◐

今月の さがしてみよう

夏の大三角



夏の大三角を探してみましょう。まず頭の真上にひとときわ明るい星、こと座のベガ（おりひめぼし）を見つけます。ベガの南東にある明るい星がわし座のアルタイル（ひこぼし）です。この2つの星と東側にある明るい星、はくちょう座のデネブをつなぐと「夏の大三角」です。空の暗いところに行くと、三角形の中にぼんやり天の川を見ることができます。

今月のオススメ星座！

わし座



七夏の彦星であるアルタイルが目印です。アルタイルとは「飛ぶワシ」という意味で、アルタイルを挟んで二つの星が一直線に等間隔で並んでいる様子を飛んでいるワシに見たてたところからその名がつけました。

はくちょう座



夏の大三角の星の一つである一等星デネブが目印です。天の川の中にきれいな十字を形作っています。くちばしの星はアルビレオといい、肉眼では一つの星に見えますが、望遠鏡で見るとオレンジ色と青色の2つの星に見える二重星です。

天文コラム

明け方の金星と木星

8月11日から13日にかけて、明け方の東の空で金星と木星が近づいて見えます。この時、金星の明るさがマイナス4.0等、木星の明るさがマイナス1.9等と、ともにとても明るく見つけやすいです。

また13日はペルセウス座流星群の極大日なので、流星群の観察と併せて金星と木星も見つけてみましょう。

